

のぞいてみよう!
森林学科の授業



刈払機メンテナンス



刈払実習



カラマツ植栽



授業風景



測量実習



救命救急研修



先進林業視察



製材工場にて授業

学科設立以前から、林業技術の高度化や森林資源の有効利用の研究に着手し、同時に普及活動も行っていた森林総合研究所。この構内に開講した森林学科は、施設に接する86haの実習林をはじめ林業地帯として発達してきた峡南地域にある人材などを使い、本格的な実習ができるのが特長です。また、市場や工場などの関連施設も車で1時間以内に行けるため、「林業の一連の流れを自分で見られる」ことは非常にメリットが大きいです。そして、関連企業の方に外部講師として入ってもらえるので、生徒は現場ならではの「生きた技術」を学ぶことができます。企業側も就職先としてのアピールの場になつたり、学校で育成された人材を引き受ける準備運動になつて、良い関係性ができるといいます。青山先生も立地や環境の良さを利点として挙げています。ほかにも、ドローンや通信機器を使う安全で効率的なスマート林業の技術習得や、森林所有者に森林の整備や伐採を提案する森林施業プランナーの育成なども行い、即戦力・企画力を育み、2年間で15の資格を取得できるカリキュラムが組まれています。

初年度の1年生は全9名。「この3ヶ月で資格も5つほど取得し、タイトなスケジュールながら、全員意欲を持ってよく頑張っています。仲間同士の雰囲気も良く、それに私たち講師陣も助けられている部分があります。卒業後は、各自やりがいを持つて県内林業で活躍してもらいたいですね」と、青山先生は生徒たちにこやかに見守ります。

DATA

専門学校 山梨県立農林大学校 森林学科

富士川町最勝寺2290-1

TEL 0556-42-7080

<https://www.pref.yamanashi.jp/noudai/>



進藤 直さん

入学のきっかけは?

農林大学校を選んだきっかけは、新しく開講する学科の新聞記事を親が目にしたことでした。もともと自然の中で過ごすことが心地良いと感じていましたし、自宅で草刈りやチェンソーなど機械操作を日常的にしていた環境で育ったことも手伝って、林業に興味を持ちました。

授業の様子について

知らないことがたくさんあって、知識欲を刺激されています。特に、今日のように実習をしている時が一番楽しいですね。あつという間に時間が過ぎていきます。先日は、車で遠くまで移動が必要な実習があったんですが、準備など効率を考えるとチームワークが大切な場面もあるので、みんなで協力しながらこれからも頑張っていきたいです。

今後の目標や夢は?

将来的には、地元北杜市の林業事業体に就職することを目指しています。植林から伐木、木材販売まで一連の流れを自社で対応している会社なんですが、そういう場所で自分の力を発揮していきたいです。

SHINDO NAO

入学のきっかけは?

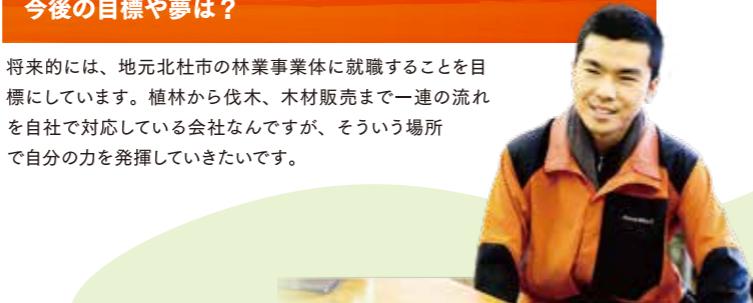
今でも休日は山登りをするほど、昔から良く山に遊びに出かけていました。地元が富士川町から近いので、この辺りも来っていました。そんな風に過ごすうちに少しづつ林業にも興味を持ち始めて、高校の先生たちに後押しされ、入学しました。

授業の様子について

昔から慣れ親しんだ山で勉強できるのは楽しいですね。今日の実習で扱うチェンソーでは、整備から実際に動かすまで自分で行います。覚えることや大変なことはもちろん多いですが、その過程も達成感や充実感に繋がっていて面白いです。

今後の目標や夢は?

地元の林業を盛り上げていきたいと思っています。地元企業の方が講師に来てくれる際には、より実践的な技術を学ぶことができる環境もあります。森林学科で学んだことを活かして、山梨で活躍や貢献をしていけるような人になりたいです。



長田 啓太郎さん OSADA KEITARO

入学のきっかけは?

今でも休日は山登りをするほど、昔から良く山に遊びに出かけていました。地元が富士川町から近いので、この辺りも来っていました。そんな風に過ごすうちに少しづつ林業にも興味を持ち始めて、高校の先生たちに後押しされ、入学しました。

授業の様子について

昔から慣れ親しんだ山で勉強できるのは楽しいですね。今日の実習で扱うチェンソーでは、整備から実際に動かすまで自分で行います。覚えることや大変なことはもちろん多いですが、その過程も達成感や充実感に繋がっていて面白いです。

今後の目標や夢は?

地元の林業を盛り上げていきたいと思っています。地元企業の方が講師に来てくれる際には、より実践的な技術を学ぶことができる環境もあります。森林学科で学んだことを活かして、山梨で活躍や貢献をしていけるような人になりたいです。



interview

伊藤 正揚さん

入学のきっかけは?

高校2年生のときに選択授業で森林科学を学ぶ機会がありました。授業の演習で測量をしたり、樹高を計ったり、実際に切るところを見たりと、山の世界に触れて、「こういう仕事も楽しいんじゃないかな」と思いました。当初は、すぐに就職を考えていましたが、高校の先生から技術を学んでから就職をした方がいいとの勧めもあり、農林大学校への入学を決意しました。

授業の様子について

山梨県内の林業の事業体に就職して働きたいと考えています。入学して3ヶ月、地域のことや技術面でもまだわからないことも多いので、もっと勉強をしたいです。特に、測量でドローンを活用したり、レーザーで測量をしたりするIT関連の分野を深く学びたいなと思っています。

これから入学を希望する方へメッセージをどうぞ

僕は、神奈川から森林学科へ入学しましたが、先生方もみんな熱心で優しい方が多く、ここを選んでよかったと感じています。設備も整っていますし、実習林が学校の隣にあって環境もばっちりですね！林業の1から10までがしっかりと学べる場がここにはあります。



専門学校 山梨県立農林大学校 森林学科

県内林業の未来を
担う若者たち

山梨県は、県土面積の78%を森林が占める全国でも有数の森林県。それらの資源を有効活用するために欠かせない林業の担い手育成に向け、令和4年4月、山梨県立農林大学校が新たに「森林学科」をスタートさせました。本号では、そんな富士川町最勝寺にある森林学科のキャンパスを訪ね、県内の森林における課題や展望、彼らが真摯に向き合う林業の魅力に迫りました。

森林学科教務課
専任講師
青山将英先生

林業現場が期待!
若手定着への架け橋

